

朗読劇

# 人類館

津嘉山正種ひとり語り

作= 知念正真

演出= 菊地一浩

企画・演出協力= 津嘉山正種

写真:坂本正郁

2018年

7月14日(土)・15日(日)

[14日:17時開場・18時開演 / 15日:13時開場・14時開演]

タイムスホール (タイムスビル3階)

料金[全席自由] 前売:3,500円 / 当日:4,000円

主催:沖縄タイムス社、劇団青年座 共催:琉球放送

協賛: 沖縄銀行



今から約100年前、  
生きた人間を展示した  
博覧会があった

津嘉山正種が語る  
沖縄の現実 歴史の事実  
人間の真実

# 七 劇団青年座

津嘉山正種ひとり語り

朗読劇

# 人類館

作= 知念正真  
演出= 菊地一浩  
企画・演出協力= 津嘉山正種

皆さん今晚は。

本日は我が「人類館」へようこそおいでくださいました。

史上初の、そして空前の規模で開かれます我が「人類館」は、

世界中のいたる所で差別に遭い、

抑圧に苦しみ、迫害に泣く人種、民族を、

色とりどりに取り揃えてございます……

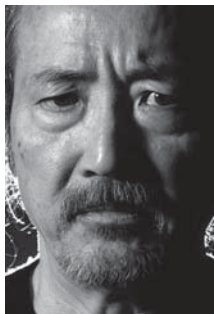
(戯曲『人類館』より)

知念正真作『人類館』は、一九〇三年に大阪天王寺で開かれた内国勸業博覧会会場前に建てられた「学術人類館」において、琉球、朝鮮、アイヌ、台湾高砂族、インド、マレー、ジャワ、アフリカなどの人々を、民族衣装姿でそれぞれの住居に住ませ、見世物として観覧させた事件、俗に言う「人類館事件」を題材に書かれたものです。この学術人類館を舞台に近現代の沖縄の歴史と文化、とくに戦中・戦後の沖縄の姿を赤裸々に再現しています。

津嘉山正種は、ウチナーグチ(沖縄語)を駆使し、「陳列された男」「陳列された女」「調教師風な男」の三役を自由闊達に演じます。

## 津嘉山正種 (つかやま まさね)

1944年2月6日、那覇市生れ。70年那覇商業高校卒業。琉球放送勤務を経て上京、65年「劇団青年座」に入団し、舞台を中心に活動。87年の「NINAGAWA マクベス」ロンドン公演では主役を務めた。「男はつらいよ」シリーズなど映画やテレビドラマのほか、ナレーション、洋画の吹き替え、アニメなど声の出演多数。2010年には、舞台「黄昏」での演技が高く評価され、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。東京在住。



日時 | 2018年 7月14日(土) 17時開場 18時開演  
15日(日) 13時開場 14時開演

会場 | タイムスホール(タイムスビル3階)  
那覇市久茂地2-2-2  
TEL:098-860-3588

入場料金 | 前売り券 / 3,500円 当日券 / 4,000円 ※全席自由、未就学児童入場不可

チケット取扱い所 | 沖縄タイムス本社 中部・北部支社  
ローソンチケット(Lコード 81805)  
ファミリーマート各店(イープラス <http://eplus.jp>)  
デパートリウボウ(098-867-1171) コープあぶれ(098-941-8000)

主催 | 沖縄タイムス社、劇団青年座

共催 | 琉球放送

特別協力 | 那覇商業高等学校同窓会、津嘉山正種後援会

後援 | 那覇市、沖縄県文化振興会、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、FM沖縄

お問い合わせ | 沖縄タイムス社読者局文化事業本部  
TEL:098-860-3588 (平日 10:00~18:00)

劇団青年座 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-53-12  
TEL:03-5478-8571 FAX:03-3465-0335